

■ 外研社·供高等学校日语专业使用

新经典 日本语

基础教程

总主编 / 刘利国 宫 伟
主 审 / 修 刚 陈 岩 石川守(日)
 松下和幸(日) 松下佐智子(日)
主 编 / 贺静彬 尹贞姬 陈 丽

にほんご

第三册



外语教学与研究出版社

含MP3光盘一张

■ 外研社·供高等学校日语专业使用

新经典 日本语

基础教程

总主编 / 刘利国 宫 伟

主 审 / 修 刚 陈 岩 石川守(日)

松下和幸(日) 松下佐智子(日)

主 编 / 贺静彬 尹贞姬 陈 丽

编 / (以姓氏笔画排序)

于永梅 川内浩一(日) 王 云 王 梅

尹贞姬 孙 妍 坂田英夫(日) 时 代

陈 丽 张 瑾 张洪梅 贺静彬 贺耀明

徐二红 黄一峰

にほんご

外语教学与研究出版社

北京

第三册

图书在版编目 (CIP) 数据

新经典日本语基础教程. 第3册 / 贺静彬等主编; 于永梅等编. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2015.3

(新经典日本语 / 刘利国, 宫伟主编)

ISBN 978-7-5135-5841-9

I. ①新… II. ①贺… ②于… III. ①日语—高等学校—教材 IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2015) 第 070704 号

出版人 蔡剑峰
项目策划 彭冬林 杜红坡
责任编辑 蓝佳
装帧设计 新佳禾书装
插图设计 任洪旭
出版发行 外语教学与研究出版社
社址 北京市西三环北路 19 号 (100089)
网址 <http://www.fltrp.com>
印刷 北京市大天乐投资管理有限公司
开本 787 × 1092 1/16
印张 15
版次 2015 年 4 月第 1 版 2015 年 4 月第 1 次印刷
书号 ISBN 978-7-5135-5841-9
定价 48.00 元 (含 MP3 光盘一张)

购书咨询: (010) 88810920 电子邮箱: club@fltrp.com

外研书店: <http://www.fltrpstore.com>

凡印刷、装订质量问题, 请联系我社印制部

联系电话: (010) 61207896 电子邮箱: zhijian@fltrp.com

凡侵权、盗版书籍线索, 请联系我社法律事务部

举报电话: (010) 88817519 电子邮箱: banquan@fltrp.com

法律顾问: 立方律师事务所 刘旭东律师

中咨律师事务所 殷斌律师

物料号: 258410001

本册构思、策划、样张设计：贺静彬、尹贞姬

前期调研：贺静彬、尹贞姬、王梅、陈丽

过程修订：贺静彬、陈丽、川内浩一、坂田英夫

目录、附录制作：贺静彬、尹贞姬、陈丽

后期编辑、修订、构图：贺静彬、陈丽

执笔：徐二红 第1、8课

时 代 第2、7课

张 瑾 第3、4课

尹贞姬、贺静彬 第5课

孙 妍 第6课

陈 丽 第9、16课

黄一峰 第10课

张洪梅 第11课

王 云 第12课

于永梅 第13课

王 梅 第14课

贺耀明 第15课

前言

近年来,我国高等院校外语专业在人才培养模式、课程设置、教学内容、教学方法等方面都发生了很大的变化。为了适应新的教学需求,在对全国不同类型院校日语本科教学现状进行调研的基础上,大连外国语大学和外语教学与研究出版社共同组织中日两国专家和一线教师编写了这套《新经典日本语》本科系列教材。

《新经典日本语 基础教程》是以中国高等院校零起点的日语专业本科学生为对象,以培养学生听、说、读、写综合语言交际能力为目标的教材。本教材以《高等院校日语专业基础阶段教学大纲》为依据,参照日本《国际交流基金日语教育标准2010》对相应学习阶段的要求编写而成。基础教程共分四册,第一册含“发音”和14课,第二、三、四册各有16课。各院校可以按照每周一课(8课时)的进度安排教学,教师也可以根据学生的接受程度灵活掌握。

本系列教材在学习和吸收国外第二语言教学的先进理念和方法的基础上,借鉴国内外已经出版的优秀教材的经验,结合中国日语本科教学的现状和大纲要求编写而成。在编写设计中,主要体现了以下几个特点:

1. 以学生为中心,激发学生自主学习动力和语言探究潜能。本教材在课堂组织中强调学生的参与度。教师在课堂上的角色不再是单纯的课文讲授者和知识传播者,而是学习的引导者、语言交际任务的设计者。教师的任务主要体现在调动学生学习的积极性,引导学生有效参与课堂活动以及进行语言探究,从而激活他们内在的语言知识系统。以学生为中心,并不是要放弃教师在课堂中的主导地位,而是要让教师成为优秀的课堂引导者,最大限度地调动每一个学生参与到课堂中,激发他们自主学习的动力和对一门外来语言探究的渴望。有趣、活泼的课堂教学才是高效率的。为此,作为基础阶段教材,并不过分强调语言知识,特别是语法理论知识的翔实讲解,而是以帮助学生发现和总结语言规律、举一反三、灵活运用为目标。

2. 以输出为驱动,培养综合应用能力。语言是交际的工具,学习语言的根本目的是为了与他人有效沟通。本教材强调输入与输出并举,以输出为驱动,培养学生在真实语境下完成语言交际任务的能力。具体来说,教材在注重培养学生听力与阅读理解等语言输入能力的同时,突出对学生口语和书面表达能力的训练,即语言的输出,并为此提供语言输出表达的各种场景和材料。本教材在以主题(话题)——情境——功能为主线的结构设计中,引入任务教学法的理念和方法,设计多样化的真实语境交际任务。学生在完成任务的同时获得了对语言的兴趣、成就感和听说读写综合应用的能力。

3. 融文化于语言学习中,培养跨文化思辨能力。语言是文化的载体,不了解目标语言国的文化是没有办法真正学好这门语言的。本教材在编写中以跨文化交际理论为指导,强调将跨

文化交际与文化冲突融入到语言学习之中。为了实现这一目标，不能只是在每一课后设置一些有关目标语言国风光土人情的“小知识”，而是要将文化的精髓、民族的文化特质融入到语言交际中。为此，本教材在选材设计上强调内容的深度（有意义）和真实性，要让学习者从语言学习中感受、了解到另一文化的特征。通过语言学习，学生不仅获得了交际技能，而且了解到不同民族间的文化差异在语言和思维上的真实表现，从而也培养了在跨文化交际中的思辨能力。

4. 立体化教学，提供更为宽广的交际平台。在新的数字化环境下，外语学习途径变得更加丰富、多样、便捷。特别是网络技术和移动平台的发展，打破了传统的时间和空间限制，为学习者提供了更为宽广的交际平台。本套教材体系除包含传统的纸质教科书、录音光盘以及助学课件外，还有针对教学需求开发的语言测试系统和网络化学习平台，为学习者提供诊断式学习方案，及时帮助学习者检测自己的水平和能力，发现具体不足之处，并为每一个学习者提供个性化的指导意见和学习课程。

以上是本教材的基本理念和设计特点。我们在编写过程中虽然借鉴和吸收了国内外优秀教材的经验并提出自己的创新理念，但限于我们的学识和经验，在具体教材设计中还存在着诸多不足，在新观念、新方法的应用中难免鹦鹉学舌之陋。我们诚挚地希望专家和使用单位不吝赐教，提出批评和建议，使我们能不断修订，把本教材编写成一部学习者叫好的经典教材。

《新经典日本语》编写组

2014年7月31日

使用说明

一、关于本教材

1. 4册内容综合全面，既强化学生语言能力的学习，又涉及小说、散文、演讲、议论文等各类体裁，凸显了日本文化的同时，也重视培养学生的人文素养。
2. 阅读课文的选取既考虑到学习者的学习特点，也考虑到教师的教学需要，做到趣味性、知识性、实用性、科学性的统一。
3. 应用会话部分重视从实际生活出发创设情景，贴近生活，激发学生的兴趣。
4. 主教材以多样的训练模式对学习者的进行综合技能训练。

二、课文构成

本教材课文由以下六个部分组成：

1. **学习目标**：提示学生通过本课的学习应达到的基本程度，包括思考能力、认知能力、对不同文化的理解能力及语言表达能力等。
 2. **正文**：该部分为本课的核心话题，题材包含日常生活、地理、历史、自然、语言、教育、娱乐等。
 3. **应用会话**：每篇会话紧扣正文话题，使不同的会话场景与口语功能相结合，以期达到交际之最终目的。
 4. **语言项目的学习**：包含词汇和语法两部分。词汇部分结合本课主题在「関連用語」部分设计了与主题内容相关的拓展词汇。语法部分主要归纳了正文以及应用会话中出现的书面语法和口语语法，并在「文型」和「注釈」两栏目中分别进行了讲解，具体形式包括口语表达功能释义、会话场景例示、名词解释以及提示特殊语法点等。
 5. **综合技能训练**：包含「内容確認」和「練習問題」两个部分。
 - ①「内容確認」部分有针对正文、会话文的检测习题，也有以熟悉内容为目的的环节设计，即把会话文用陈述句改写，目的是将习得（输入）的内容转换成写（输出）的内容，真正做到活学活用。
 - ②「練習問題」部分
 - A部分 -----交际性练习（模拟场景下的会话练习）
 - B部分 -----复用性练习（根据所学内容进行概括性复述练习或小作文写作练习）
- 此外，在练习的最后部分附有关联词汇及表达方式列表，为学生提供与本次话题相关的资料，但该部分不作为必学知识。

以上环节的主要目的是提高学生的思维能力和拓展知识面，让学生学会归纳总结、复述大意、口头和书面表述意见等。

练习B部分教师可结合课时及学生的实际情况灵活使用，既可作为课前学生发言或学生课外学习活动的素材，也可作为师生课堂互动的实践环节设计到教学中。

6. 文化专栏：主要介绍与本课内容密切相关的日本社会文化常识。

课堂参考案例：

下面以第三册「第8課 丘の上の父」为例，对教材的具体结构进行说明。

第8课的主要学习目的是通过小说这一体裁培养学生阅读的兴趣，使学生掌握用日语对小说内容及人物等进行评价的能力。

“学习目标” 首先向学生提出了三个学习目标并配以形象生动的图片，以此引发学生对小说中人物的性格与形象展开想象。这样的热身设计有利于学生了解作品内容，提高学生对作品的兴趣。

“正文” 可分为五个场景。

第一个场景：介绍主人公的家庭背景

第二个场景：介绍主人公父亲的性格

第三个场景：父亲站在山冈上向主人公招手

第四个场景：主人公当时的心情

第五个场景：主人公对父亲的评价

该部分的编写意图是：针对中级日语教学的特点，深化教学内容，使日语课堂教学不仅仅停留在对词语和语法的解释和理解上，而是要深入到作品的背景和作者内心、深入到文章的思想意义、深入到作品的语言和风格中去，启发和引导学生对课文所涉及的内容和文化背景进行较深入的思考，让学生在感受日本文化的内涵以及日语魅力的同时提高自身的素养。

“应用会话” 该部分的设定与主课文内容密切相关。围绕敬老日时送父母礼物以及表达谢意的话题展开对话。话题中又将陈述意见和认同对方观点的口语功能贯穿其中，使语言交际功能与话题相结合，达到交际之最终目的。

“语言学习” 分为词汇和语法两部分。词汇部分结合本课主题在「関連用語」部分设计了相关的拓展词汇。语法部分主要归纳了正文以及应用会话中出现的书面语法和口语语法，并在「文型」和「注釈」两栏目中分别进行了讲解。

“综合技能训练” 共设计了两大部分，即交际性练习、复用性练习。

具体分布如下：

1. 「内容確認」部分-----复用性练习

共设计了三个问题。第一个问题为在阅读正文的基础上对文章的细节作出正误判断；第二个问题是根据正文内容回答问题；第三个问题是概括应用会话的大意。

2. 「練習問題」部分

A部分 -----交际性练习（模拟场景会话练习）

B部分 -----复用性练习（根据所学内容进行概括性复述练习或小作文写作练习。）

“文化专栏” 第8课的话题是亲子关系以及情感的表达，因此本栏目介绍了日本的 敬老日 。

出场人物介绍

陈华（中国，上海）
20岁，中国留学生。日本XX大学的中国留学生。高中毕业就去了日本。来日本第二年。与李明是同班同学。



陈华（女主人公）

李明（中国，北京）
19岁，日本XX大学的中国留学生。刚到日本不久。国内〇〇大学，日语专业学生，公派交换留学一年。



李明（男主人公）



伊藤由佳里
(陈华最好的日本朋友)



木村老师
(陈华、李明的日语老师)



山本太郎（熟人）
(李明来日本之前在中国相识，来日本后给予他很多帮助)



加藤
(学校办公人员)



道子
(伊藤的妈妈)



小金
(韩国)



米歇尔
(美国)



哈利
(英国)



克里斯
(泰国)



玛丽
(法国)

(李明所在的日语班留学生)

目 录

/ 課 /

/ ジャンル /

001

第1課 初めての食
事会

随筆

015

第2課 日本人の配慮

スピーチ

027

第3課 梅雨と日本
の住まい

説明文

039

第4課 ゴミの減量化

説明文

053

第5課 日本—東と
西

説明文

067

第6課 戦国武将の
天下統一

説明文

081

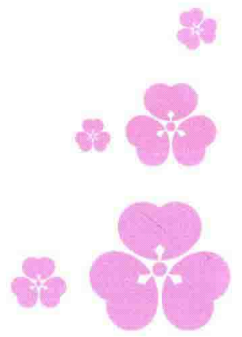
第7課 ラフカディオ
オ・ハーン

伝記

093

第8課 丘の上の父

小説



/ 交際 /

/ 関連用語 /

/ コラム /

新たな出会い

パーティーの種類を表わすことば・表現

誘われたら

カルチャーショック

調査の内容や結果を説明するときを使うことば・表現

カルチャーショック

お宅訪問

住まいに関することば

日本三名園

ゴミの分別

ゴミの分別についてのことば

日本のゴミ分別って知ってる？

連休の旅行先

町の特徴を説明するときのことば・表現

「横浜」という名前はどこから？

浅草見物

あいづちとフィラーの表現

ほととぎす

小泉八雲の生き方

好きな作品とその見どころを紹介するときを使うことば・表現

明治時代

素直な気持ち

性格を表わすことば・表現

敬老の日

105

第9課 血液型と性格

説明文

119

第10課 アニメーションとわたし

自伝

133

第11課 青春のひとこま

論説文

147

第12課 いつも学びがある

ドキュメンタリー

161

第13課 好きな言葉

随筆

175

第14課 日本の食文化

説明文

189

第15課 カラスの常識

説明文

203

第16課 雑木林

随筆

218

附録1 接続の表示法

222

附録3 関連用語

/ 交際 /

/ 関連用語 /

/ コラム /

星座占い

星座&誕生石

日本人の怖がるもの

アニメの魅力

アニメに関することば

日本のアニメ産業

大学受験

学校の話題でよく使う
ことば・表現

推薦入学

日野原先生からの学ん
だこと

医療関係のことば

学歴偏重社会

一期一会

中日の古典作品の名前

変わりつつある日本語

食文化の違い

料理に関することば・
表現

栄養価の優れたお米

スズメバチ

動物に関することわざ

カラスの知恵

スキーの誘い

季節を表わす季語

日本語のオノマトペ

219

附録2 文型と会話の
機能

223

附録4 コラム

主な文型

1. 「～を中心に」
2. 「～とともに」
3. 「～にもかかわらず」
4. 「～うちに」
5. 「ただ～だけ」

第

1

課

初めての食事会

学習目標

- 1 留学生向けのイベントを知り、日本の留学生生活に関心を持つ。
- 2 コミュニケーションを図るために、一番大切なことを考える。
- 3 人を誘ったり、情報を伝えたりすることができる。



本文

初めての食事会

松田 浩志 (まつだ ひろし)

「鍋を囲む会」へ行こうとキムさんに言われたとき、一体どんな会なんだろうと思いました。行ってみると、そこには不思議な光景がありました。大勢の青少年が鍋を中心に、いくつかの集団を作っているのです。

「始めましょうか」の声で、それぞれが持ってきた物を次々に鍋に入れます。時間が経つとともに「わあ、おいしそう」「そんな物食べられるのですか」と、あちらこちらからそれまでよりもいっそう大きな声が聞こえてくるようになりました。「料理を楽しむ会なんですね」と尋ねると、「私も初めはそう思ってたんですよ」と言って、キムさんはこの会を始めたリム先生を紹介してくれました。

リム先生は、今は日本で英語の先生をしていますが、以前は日本語を勉強していました。リム先生の通っていた学校では、毎日学生だけで会話を練習する時間があつたそうです。「ほかの学生と話をしても、発音や文法を間違ったりして、あまり役に立ちません」と反論する学生もいました。実は、リム先生もそう思っていたのですが、それにもかかわらず、休まず出席を続けていたのは、そこで面白いことに気が付いたからです。この学生だけの会話クラスでは、お互いに知ってる言葉が少ないので、相手に分かってもらえる言葉を一生懸命捜して自分の考えを正確に伝えようと努力します。聞く方も、相手の言うことを少しでもよく理解しようと一生懸命です。そんな練習の中でリム先生が気づいたことは、「外国語教育はコミュニケーションの練習の役割を果たす」こと、そしてもう一つ、「一生懸命コミュニケーションしようとするうちに、相手に対して優しい気持ちになる」ということでした。

そこで先生は、英語を教えるようになってから、会話の練習と友達作りを兼ねた「鍋を囲む会」を始めることを思い立ちました。

集まった人たちが楽しそうに話し合っている姿を見て、「囲む会」はただ料理を楽しむだけの会ではない。まるで家族がコタツを囲んで団欒の時間を持つような、体も心も温め、和やかにしてくれる場だということが、私にも

よく分かりました。

『テーマ別中級から学ぶ日本語ワークブック』より引用

ことば

なべ 鍋①	[名]	锅; 火锅	コミュニケーション④		
かこ 囲む①	[他五]	围绕		[名]	沟通, 交流
いったい 一体①	[副]	到底, 究竟	やくわり 役割③	[名]	作用, 角色
こうけい 光景①	[名]	样子, 情景	は 果たす②	[他五]	发挥
それぞれ②③	[名・副]	各自, 分别	か 兼ねる②	[他下一]	兼
つぎつぎ 次々に②	[副]	陆续, 接连	おも 思い立つ④	[他五]	决心要做
あちらこちら④	[代]	这里那里, 到处	こたつ 炬燵①	[名]	被炉
いっそう 一層①	[副]	越发, 更加	だんらん 団欒①	[名]	欢聚, 团圆
はんろん 反論①	[名・自サ]	反驳, 异议	あたた 温める④	[他下一]	使温暖, 加热
せいかく 正確①	[形動]	正确	なご 和やか②	[形動]	和睦, 和谐

応用会話

新たな出会い

(陳華さんは学校の掲示板で交流イベントのお知らせを見つけて、李明さんを誘っています。)

陳：掲示板のお知らせ見た？

李：ううん、まだ。何か面白いことでもあった？

陳：うん。今週末、交流会があるんだって。一緒に行ってみない？

李：え、どんなことするの。

陳：立食パーティ形式で、参加者の日本人と外国人留学生が自分の得意な料理を一品持ち寄って、ワイワイやるらしいよ。

李：立食パーティ？ 楽しそうだね。実は、この間、キムさんに誘われて「鍋を囲む会」に行ってみたら、面白い外国人の人にたくさん会ったよ。特